

5 再整備コンセプト



(1) 久屋大通の未来の姿

南エリアの再整備などを契機に、更なる多様性や寛容性のあるまちに生まれ変わった姿の一例を以下に示します。

歩く楽しさ・喜びにあふれるウォカブルタウン

- ・ユニバーサルデザインがなされた誰もが訪れやすい空間になっている
- ・沿道の再開発と公共空間との連携が進み、駐車待ち行列や路上駐車が無く、歩行者や公共交通が主役の公共空間になっている



出典：2040 年、道路の景色が変わる（国土交通省）の図を基に作成

常に人を惹きつけるイベントや文化の発信地

- ・国内外から人を惹きつけるイベントがいつも開催されている
- ・広場でのイベントに限らず、沿道建物敷地や歩道空間でも常ににぎわいがある
- ・地域関係者等が連携して様々な活動に取り組み、にぎわいや憩いの空間が創出されている

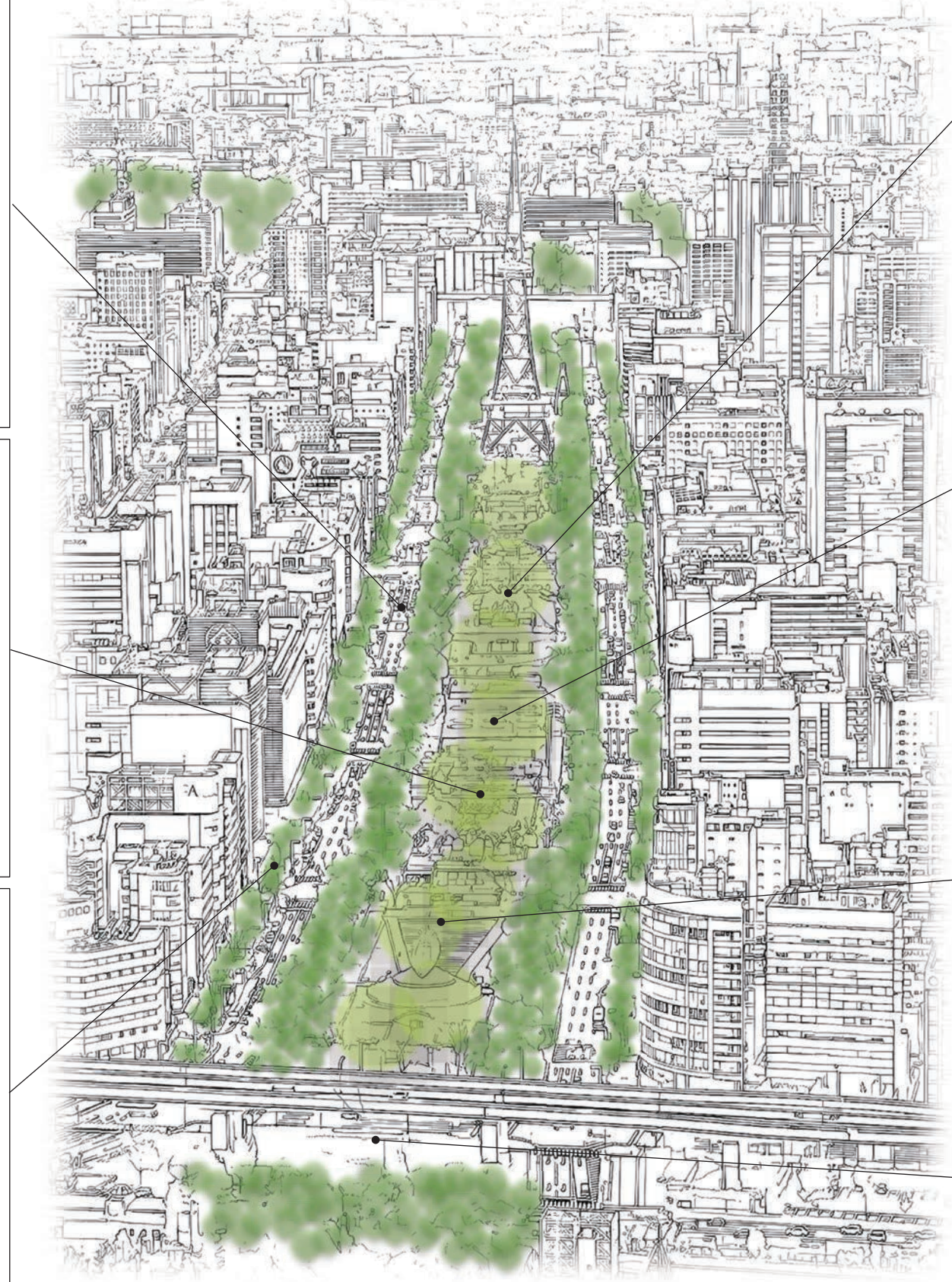


官民のパブリック空間の拡大

- ・緑の拡充や休憩施設の設置などの沿道の利活用により、地域の価値向上に取り組んでいる
- ・沿道建物は、建替え等を機に低層階が公園側に開かれた設えとなり一体感を生んでいる



出典：Nagoya まちなかウォカブル戦略（名古屋市）



久屋大通の景観・緑で仕立てる Well-being な空間

- ・豊かな緑に囲まれたスケールの大きな空間や、個性と風格のある景観が継承され、居心地の良い空間になっている
- ・多様な人々の集まりに身を置くなかで、誰もが自分の居場所を見つけられる



新たな交流によるつながりや価値、文化の創造

- ・多様な人々による多様な表現活動が共存し、互いの感性が刺激される空間となっている
- ・多様な人々が出会い、憩い、交流でき、偶発の積み重ねが新たなクリエイティビティやイノベーション、カルチャーを生み出している



デジタル技術の活用などによるエリア価値の向上

- ・先進技術や最先端モビリティが活躍し、多様な来訪者のニーズに応え運用されている
- ・データの利活用により得られた知見をエリアマネジメントに応用するなど、都市の問題に機敏かつ柔軟に対応している



出典：国土交通白書（国土交通省）の図を基に作成

拠点連携の推進

- ・名古屋高速栄出入口の供用や、駐車場のフリンジ機能の発揮などにより、自動車の都心部への集中が緩和されている
- ・三の丸地区、若宮大通公園やフラリエ、堀留上部空間の再生や整備などが進み、拠点間の回遊性向上に資する施策が展開されている